

Sustainable Kyushu

さすてなぶる九州

株式会社 岩田産業グループホールディングス

取締役社長執行役員COO

岩田 章正氏

Akimasa Iwata

取引店／福岡銀行 筑紫通支店



岩田章正社長

「食を通じて九州を元気に！」 SDGsを通じ、課題山積する農業支援事業を展開。

食へることでSDGsに参加

エネルギー問題や気候変動、環境保全などにおいてCO₂排出量の削減は重要視され、地球全体が抱える大きな環境問題として長く叫ばれています。地球温暖化の原因ともされ、SDGsが掲げる目標でも、世界全体でCO₂削減のためのさまざまな対策がおこなわれています。

光合成という言葉に焦点をあけると、植物などは光のエネルギーを使い、水と二酸化炭素を利用して光合成を行い、酸素を発生させ、デンプンなどの養分(有機物)を作ります。つまり、耕作面積を増大させ、より多くの生産物を耕作することでCO₂削減に繋がります。そして、国産の需給バランスを均衡していくには、生活者の方が輸入品よりも多少価格の高い

外食産業専門総合商品商社の岩田産業株式会社を中核会社として、九州・山口全域に、業務用食材、青果、菓・製パン原材料、病院給食専用食材などを販売する岩田産業グループ。「食品卸事業」と飲食店向け「酒類卸事業」、ピザ&お好み焼き宅配専門店、ピザクックを運営する「料理店小売業」の3事業を展開しています。

「食を通じて九州を元気に！」を経営スローガンに、1971年の創業から52年にわたり地域社会に貢献されています。日本の少子高齢化による人口減少、とくに就農人口の減少で

食糧自給率の低下、一方、世界では人口増加、新興国の経済発展による食糧需要の増加で、日本が買い負ける状況もある中、温暖化・気候変動による穀物の不作、ロシアのウクライナ侵攻による安定的な食糧供給の危機、急激な円安など、様々な要因が重なり歴史的な食糧価格の上昇も課題となつていきます。今後、食糧安全保障の観点からも、SDGsを経営のベースにして、本業を通じたリアルとデジタル化によるネット活用を融合して農業支援事業に着手された同社の岩田社長に、山積する農業の課題解決についてお話しを伺いました。

国産食材を食生活に取り入れようとする心が
けが重要になってきます。持続可能な農業が、
持続可能な社会の基本になり、結果、食糧安
全保障を解決する手段の一つにもなります。
食べることでSDGsに参加する仕組みを、今
から紹介する取り組みでつくっていきたくとい
考えています。

働き手マッチングアプリ

『農How』アグリトリオ

農家の高齢化、人手不足を解決し、農業の
標準化を目指し、2021年からマッチングア
プリを展開する株式会社アグリトリオ(本
社：愛知県豊橋市、代表取締役CEO石川浩
之氏)と業務提携しました。

日本の農業人口は1955年に約600万
戸、2000年に約300万戸、そして今や約
180万戸と年々減り続け、平均年齢も約68
歳と高齢化が進み、このままでは日本の農業
そのものが衰退してしまいます。九州の総人口
は全国の約1割ですが、農業生産額は全国の
約2割を占めていることから、九州の農家を

支援することは、日本全
体の農業を支援すること
にもつながると考えてい
ます。

農家が抱える一番の問
題は人手不足です。ただ、
農業は繁忙期と閑散期が
あり、一年中人手が欲し
いというわけではありません
ん。『農How』は、農家さ
んの「この時期だけ手伝っ
てほしい」という思いと、
「登録クルー」と呼ばれる
働き手の「1日単位や時
間単位でなら、農家さんの
手伝いをしたい」という、
双方の思いをつなげる「デ
イワークマッチングサービ
ス」です。

これまで求人で利用し
ていた新聞折り込みチラシ



クルー登録し農作業のお手伝いを行っている岩田社長(左)、原口執行役員業務統括本部長(右)



農Howについての
詳しい情報や登録はこちら

や求人誌、求人サイトでは、広告作成などに固定費と手間がかかります。このアプリなら広告作成時間は最短で15分程度、どのような作業をするのかは動画や静止画で見ることができ、働き手は事前にそれらを確認することができ、未経験者でも不安なく仕事の内容把握ができます。就業時間は2時間から、1日だけという短時間・短期間の求人も可能です。また、アプリなので24時間365日、いつでも利用が可能。マッチング成立時のみ手数料をいただく成功報酬形なので、コストパフォーマンス

既に関東地方の約800園でサービスを展開しており、同社の強みは、グループ会社に「はい、チーズ」という有名な事業ブランドがあり、園内・園外で児童の写真撮影を行い、アプリ上で自分の子供の写真を選定・決済する

保育園・幼稚園の園児に食育を通じて、野菜を供給して「Eat & Education」を掲げ、生産者の想いや生産現場を見える化、体験化する株式会社ベジリンク（本社・東京都千代田区、代表塚田祥世氏）と業務提携しました。

食育と生産者をつなぎ 子供と未来を創る「ベジリンク」

マンスも高いのが特徴です。採用の決定や支払いは、農家さんとクルーが直接行います。この事業を体験した方が農業に興味をもってもらい就農するキッカケになると嬉しく思っています。また、このサービスを九州全域で総代理店（熊本県を除く）をしているので、各県で理念を共にできる企業と地域パートナー連携を図っていかうと考えています。



アプリを全国の約10,000園と提携しており、「ベジリンク事業」との相乗効果を図っているとしている。

2023年より新たに福岡県から事業展開し、九州全域で展開するに当たり、保管・配送機能を持たないため、岩田産業グループと協業を行うことになっています。

野菜で社員の健康をサポートする「OFFICE DE YASAI」

企業の福利厚生充実、健康経営、企業価値向上により、従業員さんの働き甲斐、モチベーション向上、企業の活性化をめざす株式会社KOMPEITO（東京都品川区、代表渡邊瞬氏）が運営しています。同社は、企業内に社員食堂を設置せず、冷蔵庫・冷凍庫を配置し、1個100円から60種類前後のサラダ・カットフルーツ・惣菜など、朝、昼、晩、残業夜食などあらゆるシーンで利用可能です。全国5,500拠点に導入実績があり、今後、九州での展開に当たり製造・保管・物流面において協業を図っていきます。

新規事業と本業の相乗効果で九州の農業を一緒に支えたい

私たちの本業は、九州・山口で25,000軒の飲食に関わるBtoBのお客様です。ただ、そのお客様を利用する生活者は数千万人にのぼると思います。多くの方に私たちが抱えている課題を認識してもらうこと、また、「ベジリンク」では、園児に認識してもらう、「オフィスで野菜」では企業にお勤めの方に認識してもらう、「九州の食」の課題解決をするためには、九州産の食糧を今までも多く生活に取り入れていく必要性について啓蒙活動を行っていきます。

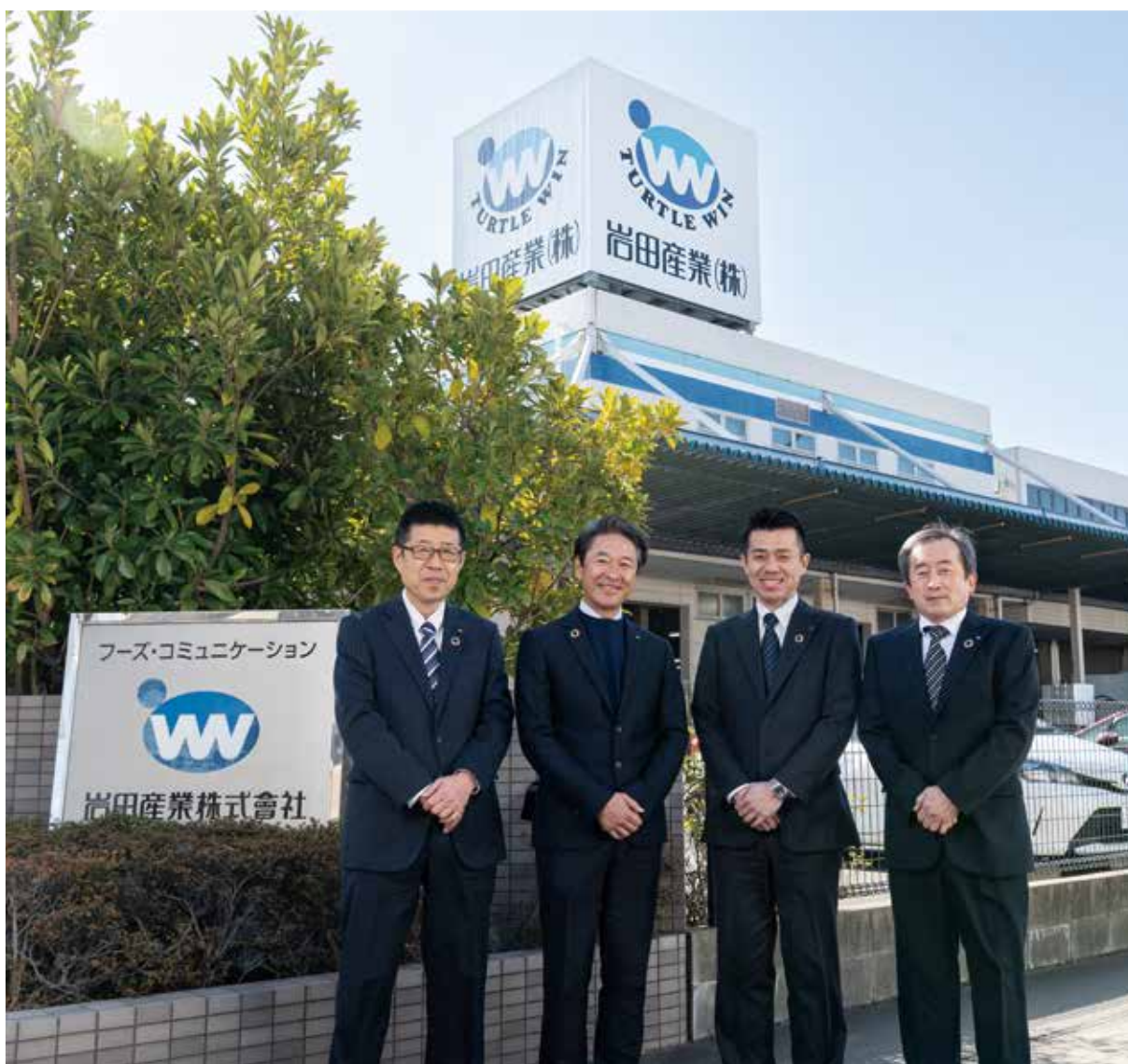
そして、多くの生活者に、生産者の想いに少しでも触れてもらう体験ができるよう「アグリトリオのマッチングアプリ」が効果を発揮すると思っています。

また、多くの生産者の方に登録をしていたり、多くのご事情、生産物を私たち岩田産業グループで加工、販売することを進めるとともに、九州産食材の生産者情報、九州産食材の魅力を発信していきます。

今後、私たち岩田産業グループの全社員がSDGsを実践するために、アグリトリオ事業に年に数回は兼業として参加していきます。そして、九州の多くの自治体の方々、企業の方々にも、この取り組みを通じてSDGs活動に参加できる状況づくりを提案していきます。



岩田社長



本社にて左から原口執行役員業務統括本部長、岩田社長、関塚支店長(福岡銀行)、斉藤業務統括本部マネージャー

株式会社 岩田産業グループホールディングス

■本社所在地：〒812-0894 福岡市博多区諸岡3-26-39

■電話番号：092-513-8181

- グループ会社：食品卸部門：岩田産業株式会社、イワタフーズ株式会社、株式会社牛島食品産業、トクスイフーズ株式会社、株式会社山徳商会
- 酒類卸部門：岩田酒販株式会社、宮崎中央酒販株式会社、株式会社蔵人、株式会社天山商店、株式会社小松屋、(株式会社吉富酒販)
- 料理品小売り部門：株式会社イワタダイナース
- 地方創生支援事業：株式会社C・B・Fコーポレーション

